

令和3年度

「国有林モニターアンケート(第1回)調査結果

近畿中国森林管理局では、国有林モニターにご登録いただいている皆さまから、今後の国有林野の管理経営や広報活動の参考にさせていただくために、以下のアンケートにご協力いただきました。

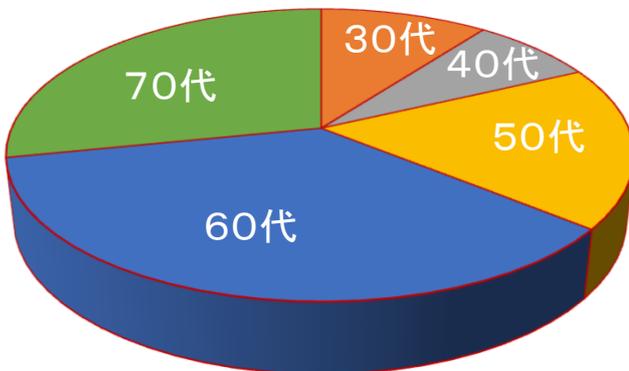
4月に送付させていただきました近畿中国森林管理局「令和3年度重点取組事項」の内容を中心として設問を用意し、記述での回答箇所を設けております。

調査時期	令和3年7月
調査方法	アンケート用紙の郵送による回答及びホームページの専用フォームからの回答
回収状況	アンケート依頼モニター数 81 名
	アンケートの回答者数 55 名
	アンケートの回答率 68 %

ご回答いただいたモニターの年代別構成 (人)

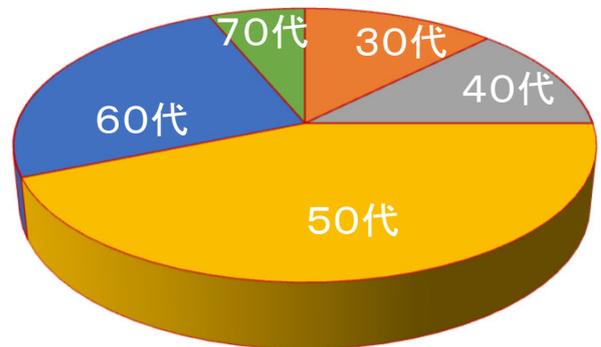
区分	男性	女性	計
20代	0	0	0
30代	4	2	6
40代	3	2	5
50代	7	7	14
60代	14	4	18
70代	11	1	12
計	39	16	55

人



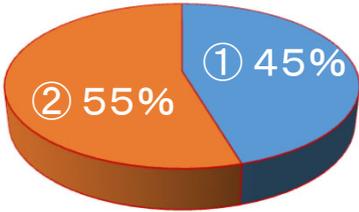
男性

人



女性

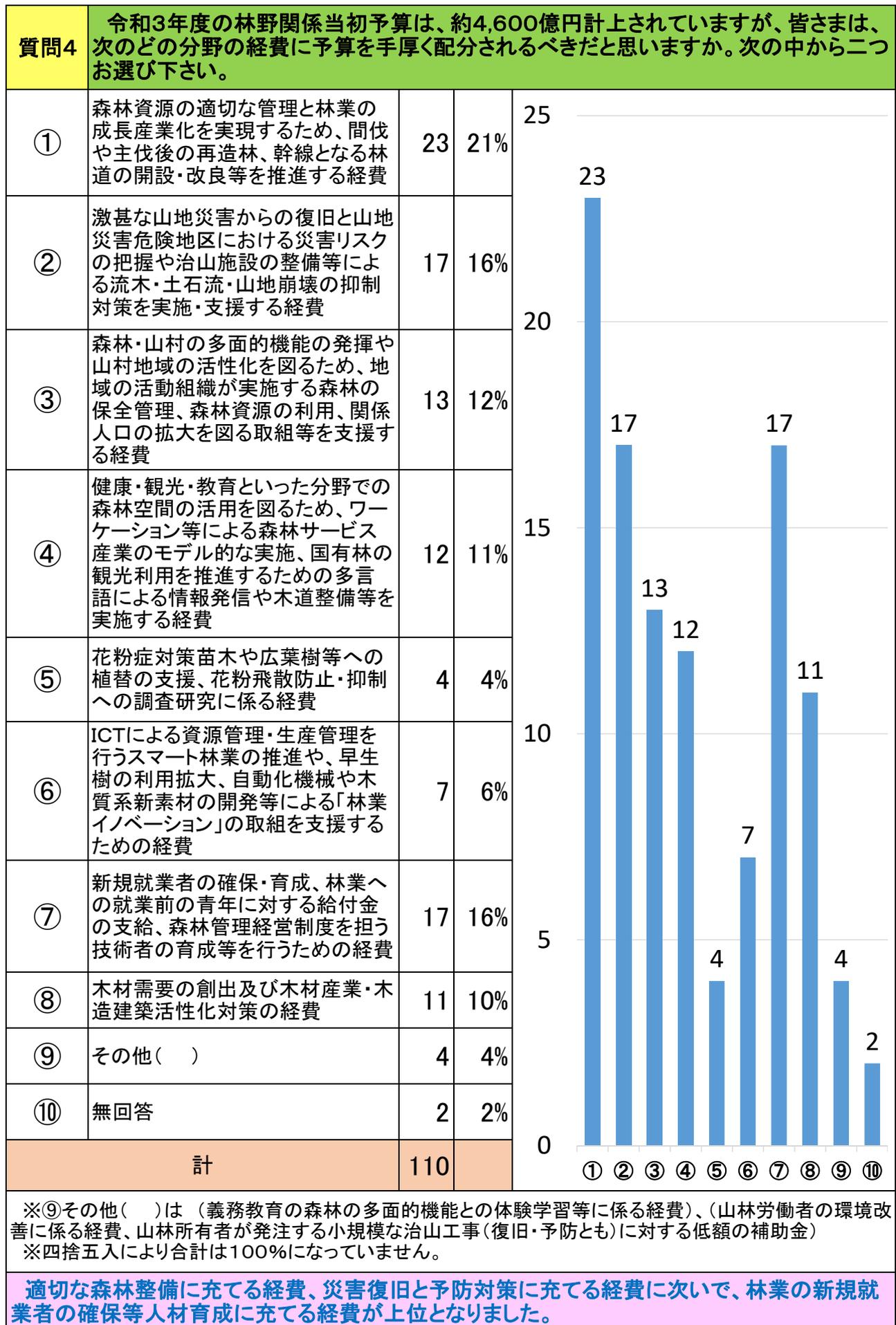
質問1		皆さまにとって国有林は、身近な存在として感じられますか。次の中からお選びください。	
①	国有林は身近に感じられる	25	45%
②	国有林は身近に感じられない	30	55%
計		55	



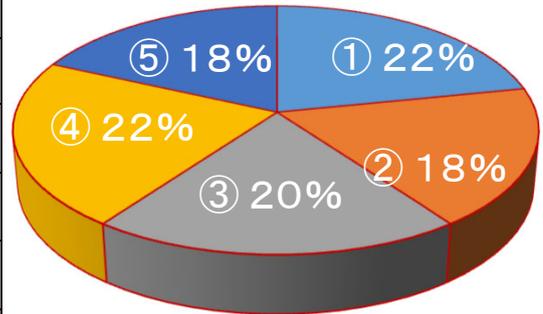
質問2		質問1で「国有林は身近に感じられる」とご回答された皆さまにお伺いします。そのように感じられた理由をお書きください。	
<ul style="list-style-type: none"> ○国有林モニターとなり、送付資料を読んで身近に感じるようになったため。 ○年間を通して国有林内でボランティアを行っているため。 ○趣味の登山で国有林の看板プレートをいつも見ていたため。 ○近くに公園化された国有林があり、登山道を散歩道としても使用しているため。 ○定期的に山にハイキングに行ったり、ドライブに行ったりするため。 ○近くの国有林に小さな頃からよく遊びに行っており、森林浴や野鳥観察に出かけるため。 ○自身が林業に従事しているため、また登山道に国有林の案内看板をよく見かけるため。 ○山間部に移住してきて、毎日森を見ながら暮らしているため。 ○近くにある国有林に散歩に行くようになり、国有林の存在を知ったため。 ○木質バイオマス発電所における燃料の調達先の1つであるため。 			
お住まいの近くの国有林を訪れたり、日ごろから趣味の登山や仕事などで森林に触れたりしている方々からの回答を多くいただきました。			

質問3		質問1で「国有林は身近に感じられない」とご回答された皆さまにお伺いします。国有林にどのようなイメージをお持ちですか。	
<ul style="list-style-type: none"> ○国有林がどこにあるかわからない。親近感が薄い。 ○アピールや宣伝が少ない。 ○国民のための森ではなく、国が管理する森。 ○イメージそのものを全くと言っていいほど持っていない。馴染みのある山であっても国有林と言われると遠く感じ、身近なイメージがわいてこない。 ○身近な森林に国有林と私有林の区別がない。 ○国有林の存在意義について、知識を得る機会が少なく、国有林の重要性を理解できていない。 ○一般の人には、国有林との接点が少ない。国有林か私有林か気にしていない。 ○国有林自体の存在を理解していても、それがどこにあって、どのように利活用されているのか、されようとしているのかは全く見えてこない。 ○近隣に存在すると聞いたことがなく遠くにあるイメージ。 ○鬱蒼とした雰囲気、近寄りたく、花粉を撒き散らす。 ○国が所有(管理)している森林。身近に聞き慣れないのであまり意識してこなかった。 ○限られた場所と保護された森林という入山困難な意味合いが深いため、遠く離れた存在。 ○山登りを趣味としているが、国有林の看板を見る以上の関わりがない。 ○国有林モニターになるまで国有林の存在自体を知らなかった。 			
国有林の位置がわからない、森林はあっても国有林かどうか分からないというご意見を多くいただきました。			

(単位：人)



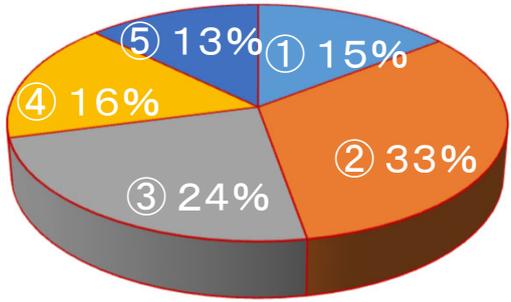
質問5 先日送付しました、近畿中国森林管理局「令和3年度重点取組事項」の中の I 公益重視の管理経営の一層の推進(P1~6)の中で、皆さまが最も興味をひかれたものは何ですか。次の中から一つお選び下さい。		
①	ICT等を活用した管理経営の一層の推進	12 22%
②	多様な森林づくりの推進	10 18%
③	シカ被害対策	11 20%
④	治山・災害復旧対策の推進	12 22%
⑤	生物多様性の保全	10 18%
計		55



質問5 選ばれた理由をお書きください	
<p>①人口減少が見えてきている我が国で、林業に携わる人が少なくなることが予想できます。機械化・自動化された林業を本気で実現するためにICTによる分析から取り組むべきです。</p> <p>①素材生産効率を向上させるうえで、集約化が必要であるが、所有者不明等でなかなか集約化が進まないため、森林を一体とした管理が必要であると感じているため。</p> <p>①最先端技術を活用し、効率的運用により世界的競争力を高める必要があると感じるため。</p> <p>①人の関心がなければ廃れてしまう。若者が何か少しでも魅力を感じてくれる施策として期待するから。</p> <p>②他の問題は“多様な森林づくり”が進めば改善する可能性があるため。</p> <p>②日本の国土の2/3は森林であることを踏まえ、森林を上手に活用することが林業の発展につながっていくのではないかと思う。多様な森林づくりが人々に魅力を与え、興味を持たすきっかけになればいいと思うから。</p> <p>②今後の森林のあり方として、経済的に成り立つ場所とそうでない場所に分けて、多様な森林作りを推進されることによって、より自然な山様に変化できるのではと期待するから。</p> <p>③鹿が被害を及ぼすとは知らなかったから。</p> <p>③鹿被害の場所から鹿を駆除するだけではなく共存する方向(鹿がもとの分布域に戻る方法など)にも対策してほしいから。</p> <p>③獣害が身近な問題だから。良い解決法が知りたいから。</p> <p>③農林水産業問わず鹿による被害は増加の一途を辿っていると思う。まずは森林から頭数を減らす努力が必要と考えるから。</p> <p>④近年の異常気象等をはじめとする様々な自然災害における甚大な被害が気になるため。</p> <p>④人の命に関わることなので、重要なことだと思うから。</p> <p>④土砂災害が多発している昨今、森林の管理が重要だと思うから。</p> <p>④未曾有の災害が予想され、治山、災害復旧対策は急務であると考えられるから。</p> <p>⑤比較的森林が残されている所の国有林野を純粋に経済性のみを追求するのではなく、生態系の多様性を保全復活して自然に親しみつつ環境保育の場として頂きたいから。</p> <p>⑤国有林には経済林以上に生態系保全のための保護林の役割を期待するので、戦略的なゾーニングにより環境保護の啓蒙の役目を担って欲しいから。</p> <p>⑤自然を壊すということは、人間の生活をも壊していくことだと思うから。</p>	
<p>ほぼ均等な結果となりました。①については、ICTの活用に期待する声をいただきました。④については、異常気象等による自然災害の甚大な被害の増加等の理由が多く挙げられました。</p>	

(単位：%)

質問6 近畿中国森林管理局「令和3年度重点取組事項」の中のⅡ林業の成長産業化に向けた貢献(P7~11)の中で、皆さまが最も興味をひかれたものは何ですか。次の中から一つお選び下さい。		
①	林業の成長産業化実現に向けた民有林への支援	8 15%
②	民有林と国有林が連携した森林整備等の推進	18 33%
③	林業の低コスト化の推進	13 24%
④	林産物の安定的な供給と林業事業者等への育成・強化	9 16%
⑤	技術開発と普及	7 13%
計		55



※四捨五入により合計は100%になっていません。

質問6 選ばれた理由をお書きください
<p>①若い人が参画しやすいようになってほしいから。意欲を持って働くことが出来るように取り組みを進めてほしい。</p> <p>①最近の木材価格の高騰を考えると継続的な成長産業とする必要があると思うので民間と綿密に連携して定期的、かつ確実に収益が確保できる体制づくりが必要だと思うので。</p> <p>②国有林で整備方法の技術開発を行い、民有林に展開していくことが望まれると考える。</p> <p>②国有林と民有林が混在している山を整備するのは、その他の項目にも連動していると思う。</p> <p>②森林整備を推進するうえで、一体的な作業道等の路網の整備、土場の相互利用等民有林と国有林が連携した森林整備の必要性を強く感じている。</p> <p>②民有林で育ててきている為から、国有林の連携プレーが今一つ飲み込めないが、森林を守り育てていくためには民有林、国有林と隔たりある考えが一番危険のような気がしている。</p> <p>②シンプルに掛けた費用に対して、ダイレクトに効果が出そうだから。</p> <p>③森林資源を持続可能にするには利益を出さなくてはやっていけない。災害防止→作業効率→作業マニュアル化を効率よく進めて欲しい。</p> <p>③ハーベスタやプロセッサ等の林業用機械が開発され、3Kと呼ばれていた産業から脱却しつつあるが、コスト面がまだまだ見通せない状況ではないかと思う。この記事では低コスト化を目指すとして具体的にどのように進めていくのか非常に興味がある。</p> <p>③コストがかかるのが一番の問題点だと思う。コストがかからなければ、木材の値段も安くなり、広く使われると思う。</p> <p>③家の建築には多くの安い輸入材が使われている。やっと使えるようになった日本の木材をもっと使ってほしい、林業の活性化を促進したいと感じるから、低コストに興味がある。</p> <p>④担い手の高齢化問題に対応し、永続的経営が成り立つための支援が今後の林業に必要と感じる。</p> <p>④機械化で人力の削減を。供給があってこそ林業が活性化されると思う。</p> <p>④全部、林業の発展育成に関連していてどれも推し進めてほしい。その中で、4番は林業従事者の収入アップが一番通じると思ったからです。「林業は儲かる。林業は楽しい」となれば、林業に携わる人が増え、森林も守られてゆくと思う。</p> <p>⑤技術無くて林業の成長は無い。従来通りのやり方では無理なことが判っていないのではないか。技術開発と普及に予算の大半を使うべき。</p> <p>⑤新技術や新商品が世界に響けば高コストでも利益化はできるし、予算配分も変わってくるため、コストの問題で森(資源)が活用できないのは努力不足に感じる。</p>

国有林と民有林の連携した森林整備、低コスト化に注目、期待する回答を多くいただきました。

(単位 : %)

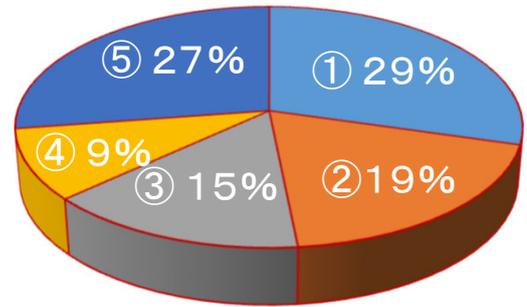
質問7	近畿中国森林管理局「令和3年度重点取組事項」の中のⅢ国民の森林としての管理経営(P12~14)の中で、皆さまが最も興味をひかれたものは何ですか。次の中から一つお選び下さい。		
①	国立公園と国有林の連携	5	9%
②	国民参加の森林づくり	14	25%
③	森林環境教育の推進	13	24%
④	多様な情報受発信	4	7%
⑤	伝統文化の継承への貢献	12	22%
⑥	大学、試験研究機関との連携の強化	7	13%
計		55	

Category	Count	Percentage
①	5	9%
②	14	25%
③	13	24%
④	4	7%
⑤	12	22%
⑥	7	13%

質問7	選ばれた理由をお書きください
<p>①環境省と林野庁が連携し、自然遺産の保護と資源利用を両立させる事。</p> <p>②多くの方に知っていただく必要があると思う。</p> <p>②アウトドアが活発になり、森林に癒やしを求めている方が多いと思う。幅広く世代に対応した森林づくりが出来ると良い。</p> <p>②決められた業務の延長線ではなく、新たな国民目線での森林づくりを考える必要がある。</p> <p>②森林は林業従事者や林野庁など一部の人達で維持するものではなく、恩恵を受ける全ての国民が経済貢献、労力貢献など何らかの形で参加すべきと思う。</p> <p>②森林管理局と企業との連携は非常に重要なことであると思う。企業に社会貢献してもらえることを強く期待している。</p> <p>③次世代を担う小中学生等の若い世代に対する森林環境教育は、木材生産だけでなく水源涵養機能や山地崩壊防止機能等の森林のもつ公益的機能の重要性を知ってもらい、森林の整備の必要性の認識を深めるために必要である。</p> <p>③長い目で見た人材育成、教育を怠っていかないと日本の自然環境は守れないと思う。</p> <p>③今よりも更に子供たちに森林の良さを感じ取ってもらいたいため。</p> <p>③少子化の我が国、将来、林業を志す人をいかに育てるか。小学校教育から子供に関心を持たせることは重要だ。森林環境に触れ合うことからスタートし、大人になり林業経営がなりたつ人材が育つことを夢見、選ぶ理由とした。</p> <p>④国有林を身近なものとして受けとめるために更なる情報発信が必要と思われる。イベントの関係、モニター制度の拡充強化策の検討など。</p> <p>⑤経済的な問題や治山・災害対策だけでなく文化的な取り組みなど多角的に取り組むものではないかと思うから。</p> <p>⑤大量生産、大量消費で大量に機械で作られ、人の手によるきめ細やかな技術が消えていく不安を感じている。林業にも伝統文化があり、それを守ろうとしていることに興味を覚えた。</p> <p>⑤伝統文化を守る=資源を守るという事を今まで意識していなかったが、森林が形成される時間はとてつもなく長い年月がかかるのでこれからも重要な産業であることを再認識できた。</p> <p>⑤歴史的木造建築物は後世に残して欲しい。</p> <p>⑥大学などの専門機関と連携してよりよい林業になるよう努力する必要があると思う。</p> <p>⑥近年、自然災害の規模が大きくなっており、森林での被害も気になるので、大学などの研究機関で災害予防の研究を促進して頂けると良い。</p>	
<p>学童期からの森林環境教育に加えて、国民の皆さまが森林を身近なものとしてとらえられるような取組や伝統文化の保存を重視する旨の回答を多くいただきました。</p>	

(単位：%)

質問8	おおむね5年ごとに変更する我が国の森林・林業施策の基本方針を定める「森林・林業基本計画」が、令和3年6月15日付けで閣議決定されました。新たな森林・基本計画では、林業・木材産業の持続性を高めながら成長発展させ、人々森林の発揮する多面的機能の恩恵を享受できるようにすることを通じて、社会経済生活の向上とカーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」を実現することとしています。以下のうち、皆さまが期待される施策は何ですか？次の中からお選びください。(複数選択可)		
	①	森林資源の適正な管理・利用	28 29%
	②	「新しい林業」に向けた取組の展開	18 19%
	③	木材産業の競争力の強化	14 15%
	④	都市等における「第2の森林」づくり	9 9%
	⑤	新たな山村価値の創造	26 27%
計		95	

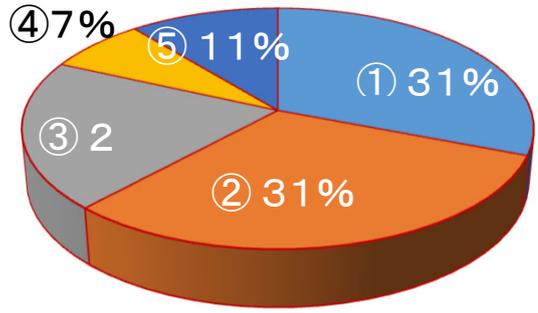


※四捨五入により合計は100%になっていません。

質問8	選ばれた理由をお書きください
<p>①まずは森林資源を大切に維持管理し利用して行くことが原点だと思う。</p> <p>①カーボンニュートラルといった言葉だけに踊らされず、身の丈に合った森林資源管理体制への変革が必要と考える。人口が急減する今後10年間で勝負。変革に要する費用を「脱炭素」を利用して捻出、環境に貢献したい企業を巻き込むのが良い。</p> <p>①長いスパンで循環する流れを作って、森林を守り、環境を守って日本を守ってほしいから。</p> <p>①森林は自然災害を起こすきっかけにもなる。いわゆる人災に繋がる大切なもの。適正な管理、利用が必要だと思う。</p> <p>②林業に新しい風を取り入れて、もっと林業が活力みなぎる業種になってほしいから。</p> <p>②まだまだ未開発分野だと思うので、林業の活性化を期待している。</p> <p>②補助金ありの産業は自立出来ないまま消えていく。自立出来る林業を創るために新たな市場創りと競争力強化は必須である。</p> <p>③木材を出荷しても出荷費用すら捻出できないようでは伐採して出荷する人はいない。国内で木材の需要は少なくないと認識している。海外の木材に負けないように、また木材に変わる建築資材に負けないように頑張りたい。</p> <p>③外国の木材に頼ることのない、日本独自の木材産業による発展に期することの出来る施策の検討、後継者育成、林業の充実強化を図る。</p> <p>④森の中で暮らす良さ、森林が人々に与えるヒーリング効果を、都会で暮らしながらも皆が実感することで、日本全体の森林への関心が高まると感じるため。</p> <p>⑤森林サービス産業は環境負荷を抑えつつ産業を維持することが出来る。また都市部の人々が求めているサービスでもある。また、山間地域の職の創出により、過疎、集落消滅、文化消失等の抑制にもなる。</p> <p>⑤森林が「混雑からの逃げ場」や「憩いの場」だけにならない様な場所になって欲しい。</p> <p>⑤図らずもコロナ禍を経験したことでテレワークが可能になった今。山村のログハウスに住んで、畑仕事した後、世界とつながる仕事もできる。半農半Xな暮らしが、グリーン成長を生み出すと思う。</p>	
<p>森林資源の適正な管理・利用と新たな山村価値の創造に多く票をいただきましたが、1つだけでなく全般的な取組を期待する声を多くいただきました。</p>	

(単位：%)

質問9	皆さまは、国有林モニターとしての活動の内容や、活動を通して知ったことを身の回りのどのような人たちに向けて伝えたいと思っていますか。次の中から当てはまるものをお選びください。		
①	家族や友人に話したい	17	31%
②	知人や同僚に話したい	17	31%
③	SNSや地域の冊子などで多くの人々に発信したい	11	20%
④	誰かに伝えようとは思わない	4	7%
⑤	その他()	6	11%
計		55	



※複数のご回答を頂いた場合は、より広い範囲と思われるものを集計しております。

※⑤その他()は(環境団体同士の交流会などで意見交換したい)、(生涯学習プロジェクトのメンバーと意見交換をしている)、(林業従事者に向けて発信していきたい)、(材木店など)、(機会があれば発信したい)など。

多くの方から家族や知人、同僚を含む身の回りの方々に発信したいとの回答を頂きました。

以上、令和3年度国有林モニターアンケート(第1回)調査結果でした。
ご協力ありがとうございました。

質問10	近畿中国森林管理局における「令和3年度重点取組事項」やこれまで送付させていただいた各種冊子等の中で、特にわかりづらい表現や専門用語等があればお聞かせ下さい。
------	--

1 林分成長量

林相がほぼ一様で、隣接する森林と区別できるような条件(例えば樹種や樹齢)を備えた森林を林分という。一定期間の間に林分内の立木が成長する量のこと。

2 小林式誘引捕獲

近畿中国森林管理局の職員が開発した改良型わなの一つ。くくりわなの周囲に誘引するための餌(ヘイキューブなど)をドーナツ状に設置し、前足がわなにかかりやすくなるよう工夫することで、シカに警戒されにくく簡単に効率よく捕獲することができる。

3 KD材(Kiln Dry Wood)

≪「Kiln Dry=キルン(窯)乾燥」の意≫
人工乾燥材のこと。⇔AD材(Air Dry Wood)天然乾燥材

4 森林クラウド

各ユーザ(都道府県、市町村、森林組合等)で管理していた森林情報を、インターネット(クラウド)上で一元的に管理するシステム。また、GISの機能を持ち、属性情報や地図情報を管理する機能を持つ。

5 改質リグニン

改質リグニンとは、日本固有の樹木であるスギから取り出されたバイオ由来の新素材のこと。リグニンとは、木材の約3割を占める成分で、木材を固くしっかりした構造にする役割があるが、樹種や生育環境に適応した進化により多様な構造を持ち、同じ性質の材料を安定的に作る事が難しかった。研究により、スギは安定供給に適した比較的均質なリグニンを持つことがわかり、物理特性を改質したリグニンの製造技術の確立に成功し、工業材料化が可能となった。